

伊保内高等学校通信

伊高だより 8月号

明朗・創造・努力



編集・発行／岩手県立伊保内高等学校
〒028-6502 岩手県九戸郡九戸村伊保内1-61-12
TEL(0195)42-3121(事務室) 42-3122(職員室)
<http://www2.iwate-ed.jp/ibn-h/>

今年度から note を利用して学校の情報発信しております。1ヶ月分のダイジェスト版を伊高だよりとします。
元となる記事・過去の記事は、下記の URL または QR コードよりご覧いただけます。

<https://ibo-hs.note.jp> または note 伊保内 で検索



寺子屋九曜塾

～English と、みんなでお勉強！～

令和 5 年 7 月 27 日（木）

寺子屋九曜塾は、
九戸村内の小学生を
対象にした体験塾で
す。



1. Genki English
タイム

2. いきいき宿題タイム

3. いきいき創作活動（工作）

学習サポーターのボランティアとして本校生徒が
お手伝いしました。（写真は 1 年大崎未来）私も少し
お手伝いしましたが、小学生はかわいい。私が小学生
の時に九曜塾があったら、「夏休み後半、宿題に悩ま
せられることもなく、絶対英語が好きになる。」とう
らやましい限りでした。九戸村はいいですね！

村長表敬訪問 令和 5 年 8 月 8 日（火）

校長はじめ、顧問、江刺家神楽保存会小井田会長、

郷土芸能委員会生徒

4 名（3 年秋元海洲・
澤向梨乃・目黒基樹・
2 年中野結友）の総
勢 7 名で九戸村役場



へ全国高文祭の報告に行ってきました。奇跡的に帰っ
てきた郷土芸能委員会一行。噂によるとまだ奄美から
出られない他県の生徒もいるようです。これも権現様
のお導きでしょうか。次なる高みを目指し、九戸村民
の期待を胸に頑張ります。物心両面でのご支援本当に
ありがとうございます。

2023 年夏 高校生等の单身用集合

住宅が完成！

県外からの入学生が生
活する場所が新しくな
ります！伊保内高校ま
で約 1.5Km の場所に
あります。



食堂付きの 2 階建てアパートです。簡易キッチン、バ

ス、トイレ付きの完全個室です。地域みらい留学生2年生1名（湯田坂歩紀）、1年生2名（平野來将・弓岡愛翔）が、ふるさとの館から引っ越しました。

九戸祭り演舞披露 令和5年8月19日(土)

九戸まつり最終日はあいにくの雨の中、ふれあい広場ステージには九戸村村内外からたくさんの方々にお越しいただき、感謝の舞を舞うことができました。本当にありがとうございました。



第47回全国高等学校総合文化祭

（郷土芸能）報告会

令和5年8月21日（月）

今日から学校スタートです。始業式に引き続き報告会が行われました。台風の影響で2日間足止めされましたが、全員無事に帰ってくることができました。全国大会での貴重な体験をもとに次の目標に向けた決意表明でした。今回の参加にあたり、九戸村をはじめたくさんの寄付をいただきました。本当にありがとうございます。



砂田屋 令和5年8月22日（火）

本日「総合的探究の時間」都合により1時間です。岩手県教育委員会学校教育室から2名の先生が視察にみえました。商品開発部門の砂田屋班は試食ができました。甘さと酸っぱさをおさえたスイーツはとてもおいしかったです。原材料に関してはまだ企業秘密ですが、来月末の販売を楽しみにしてください。



第44回九戸村地域子ども読書会

令和5年8月23日（水）

今年度も、1月に行われる九戸村地域子ども読書会に向けてスタートしました。本日は班編成です。約半年をかけて



の長丁場になります。コロナ禍において映像に代替した年もありましたが、今年度は、どのような企画があるでしょう。宮沢賢治の作品のペープサート。地元の民話を題材にした紙芝居。村内8カ所で児童200名が楽しみにしています。小学生の頃この読書会に参加し、高校生になって読み聞かせをする側となった生徒も多くいます。親子三代でこの読書会に参加する日もそう遠くないと思います。これからも大切にしたい学校行事です。

#じゃじゃじゃTV 令和5年8月25日(金)

本日、IBC岩手放送の松原友希アナウンサーが来校しました。じゃじゃじゃTV「学園天国 HEY」の



取材です。伊高むらおこし会社イベント広報班は、秋に予定されている催しでかぼちゃをテーマにしたイベントを企画中。九戸村産業振興課の高橋指導員の指導のもとジャンボかぼちゃ17株食用かぼちゃ5株を植えました。この続きは番組で 放送予定は、9月2日(土) あさ9:25~11:30 よろしくをお願いします。

（写真は松原友希アナ、3年秋元海洲・久保田瑠晟・澤田陸・2年野辺地柊真）

編集後記

夏休みも終わりましたが、暑さも留まるところを知りません。皆さん、夏の疲れを残さないように気を付けましょう。
(副)